

平成25年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画

当事業団は開設以来、宇都宮市及び近隣住民の健康増進と地域医療に大きく寄与してきた。

公益財団法人として、初期救急医療事業による安全・安心な医療環境の提供、地域住民の健康づくり及び医療従事者の養成など地域住民の公益増進を図るため、主体的に事業を行っていく。

具体的には、地域の関係機関と緊密な連携・調整を図りながら、下記の事業を行っていく。

- 夜間・休日における初期救急医療事業
- 地域住民の健康維持・増進事業
 - ・ 健診データを基に健康づくりに向けた地域的課題を整理し、その結果を行政や医療関係機関に提供するなど地域健康づくり対策を促進する情報収集・情報発信事業
 - ・ 受診結果を踏まえ今後の生活改善につなげる事後支援事業
 - ・ 中小零細事業所従業員を中心とした事業所健診，市民や小・中学生などを対象とした住民健診及びこども健診事業
 - ・ 健康づくりに必要な疾病予防や健康に関する知識の向上のための普及・啓発活動
- 地域医療従事者養成事業
 - ・ 准看護師及び歯科衛生士を地域医療従事者として安定的に確保するため、資格取得の支援及び地域の診療機関等への就業支援

1 夜間休日救急診療所部門

夜間・休日における初期救急医療事業を実施して、地域住民にとって安全で安心できる医療環境を提供していくため、次の取組みを行っていく。

(1) 夜間及び休日の一次救急診療の実施

ア 開所日数

- ・ 夜間診療 365日（準夜帯，深夜帯）
- ・ 昼間診療 74日（日曜，祝日，5月連休，旧盆，年末年始）

イ 診療スタッフ年間動員数

(単位：人)

区 分	医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	歯科 衛生士	医科 事務員	歯科 事務員	合計	前年度比較		
									動員数	増減	
昼 間	242	89	168	333	104	236	79	1,251	1,237	14	
夜 間	準夜	823	382	458	1,215	399	754	124	4,155	4,152	3
	深夜	730		365	730		365		2,190	2,190	0
	小計	1,553	382	823	1,945	399	1,119	124	6,345	6,342	3
合 計	1,795	471	991	2,278	503	1,355	203	7,596	7,579	17	

(2) 診療体制の強化

- ア 医師の安定確保のため、派遣協力医療機関との連携強化
- イ 後方病院並びに後方支援病院を始め、協力医療機関との連携強化
- ウ 患者の受入実績及び繁忙状況等を踏まえた、的確なスタッフの配置
- エ 医療サービス向上のため、スタッフへの効果的な研修・指導の実施

(3) 利用料金制による弾力的な事業運営

診療報酬を自らの財源とした主体的・効率的な公益目的事業展開

(4) 普及・啓発活動

下記の取り組みを実施し、地域住民に対して、救急医療の理解と健康に対する知識の向上を図る。

- ア 乳幼児健診時等における啓発活動
 - 市4カ月児健診時等に「救急診療所の適正受診」についての啓発チラシの配布の実施
- イ メディアを通じた啓発活動
 - 5月の連休、旧盆及び年末年始時の救急医療機関の適正受診の啓発及び季節の節目に健康に関する「ワンポイントアドバイス」放送
- ウ 講演会（講座）などの開催
 - 「救急医療機関の適正受診について」などをテーマにした講演会（講座）による啓発

2 健診センター部門

地域住民の健康維持・増進を図るため、次の事業を行っていく。

(1) 健診事業

健診種別		平成25年度 (件)	平成24年度 (件)	増減	
				(件)	(%)
事業所 健診	定期健康診断	24,060	24,760	△ 700	97.2%
	生活習慣病予防健診	11,290	11,210	80	100.7%
	人間ドック	1,550	1,500	50	103.3%
	特殊健康診断	2,540	2,470	70	102.8%
	結核検診	4,460	4,320	140	103.2%
	その他の健診	2,220	2,150	70	103.3%
	計	46,120	46,410	△ 290	99.4%
住民 健診	節目健診	3,520	3,440	80	102.3%
	地区健診	8,195	7,560	635	108.4%
	地区巡回健診	4,730	4,230	500	111.8%
	乳がん巡回検診	3,570	3,420	150	104.4%
	子宮がん巡回検診	3,570	3,420	150	104.4%
	個別マンモグラフィ検診	2,900	3,510	△ 610	82.6%
	結核検診	30	30	0	100.0%
	特定健康診査単独	140	190	△ 50	73.7%
計	26,655	25,800	855	103.3%	
子ども 健診	心臓検診	14,250	14,730	△ 480	96.7%
	結核検診	5,550	5,550	0	100.0%
	その他の健診	11,870	12,180	△ 310	97.5%
	計	31,670	32,460	△ 790	97.6%
合計		104,445	104,670	△ 225	99.8%

<特定保健指導>

区分	平成25年度	平成24年度	増減	
	(件)	(件)	(件)	(%)
職域特定保健指導	173	161	12	107.5%
地域特定保健指導	47	34	13	138.2%
合計	220	195	25	112.8%

(2) 健康支援事業

生活習慣病予防健診及び人間ドック受診者の希望者に対し、医師が健診結果を直接説明する結果説明を行うほか、保健師が受診者の健康に関する相談に対応する健康相談や乳がん自己触診法等の指導を行う事後指導を実施して、受診者の健康生活を支援する。

(3) 公益目的事業

ア 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

健診データを基に地域住民の健康状況から今後の健康づくりに向けた地域的な課題を整理し、その結果を報告書やチラシの形にまとめ、行政等に提供すると共に地域住民を対象とした講演会などで周知することにより、地域住民の健康づくりへの主体的な支援を実施していく。

イ 健康教室

保健師が地域の事業所や自治会、老人会及び各種団体等に出向き、健康や栄養等に関する講義や指導を行う健康教室を無償で実施し、地域住民の健康に関する意識の向上に努めていく。

ウ 普及・啓発活動

① 各種健診の受診率向上への取り組み

各種疾病の予防月間やがん征圧月間等においては、横断幕やボード等を健診車両や施設に掲示し、強化月間であることを地域住民に対してPRを行うと共にパンフレットを作成し配布するなど、健診の受診率向上に努める。

② 講演会の開催

医師などを講師として「健康に関する知識や疾病予防」などの健康に関する内容で、地域住民を対象とした講演会を開催し、疾病予防や健康への知識の向上を図っていく。

③ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

保健師が作成する健康に関する情報等をチラシの形にまとめ、事業所や地区市民センターの窓口を通して市民に配布することにより、広く市民へ健康に関する情報を提供していく。また、ホームページにも掲載して市民の健康づくりに役立てていく。

④ メディアを通じた普及・啓発活動

地域住民が自分や家族の健康について考えるきっかけとするために、各種健康に関する予防月間やがん征圧月間等の際に、その意義や予防について新聞やラジオ、テレビなどのメディアを通して広く市民へ周知していく。

(4) 精度管理の向上

健診機関の従事者を対象とした各種学会に職員を参加させ、検査技術の研鑽及び知識の向上を図ると共に各種検査機器について、始業点検や定期点検を励行して機器の管理を徹底し精度の高い健診を推進する。また、全国労働衛生団体連合会等が主催する外部精度管理事業に継続して参加して検査精度の向上に努める。

(5) 安全管理の徹底

健診業務において発生する恐れのあるあらゆる事故の防止のため、リスクマネジメントを積極的に推進すると共に、重要な個人情報を取り扱う健診機関として健診データ等の取扱、管理等の安全対策を徹底して、安全・安心な健診の推進に努める。

(6) 第三者認証の更新

全国労働衛生団体連合会が主催する「労働衛生サービス機能評価」の認証を更新して、公益財団法人の健診機関として、精度管理、安全管理、運営管理等が適切に実施・維持されているか客観的に評価されることにより、対外的な信頼性を確保する。

(7) 健診システム改修への準備

平成26年度の健診システム改修に向け、同システムに付随する職域健診事務管理システム及び業務効率化ソフト基本設計書を作成するなど、健診システム更新への準備作業を着実に進める。

3 准看護高等専修学校部門

地域医療従事者として、准看護師を安定的に供給するため、次の取組みを行っていく。

(1) 教育実施体制

学年	定員	教育科目（座学講義）				臨地実習		教育実施 時間合計 (時間)	
		基礎科目 国語 外国語 音楽 その他 (時間)	専門基礎科目 人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 その他 (時間)	専門科目 基礎看護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護 (時間)	合計 (時間)	協力 講師数 (人)	実習 時間 (時間)		実習 施設 (機関)
1年生	40人	92	276	398	766	46	309	16	1,075
2年生	40人	22	115	280	417		430		847
合計	80人	114	391	678	1,183	46	739	16	1,922

(2) 生徒確保対策の強化

- ア 学校訪問・病院訪問の実施
- イ 学校見学会の実施（4回）
- ウ 広報活動の充実
- エ ホームページの充実
- オ 携帯サイトの作成及び掲載

(3) 教育環境の充実

- ア 教育器材の整備
 - ・視聴覚教材（DVD）の更新
- イ 学校図書の実施

(4) 教育内容の充実

- ア 専任教員の資質の向上
 - ・栃木県看護教員研修会（1年間）に教員1名が参加
- イ 講師及び実習指導者との円滑な連携の推進

(5) 実践活動の充実

- ア 施設見学、校外研修（1・2年生合同宿泊研修等）の実施
- イ 特別講義の実施

(6) 地域医療への就業支援

- ア 進路指導・就職指導による進学・就業支援

4 歯科衛生士専門学校部門

地域医療従事者として、歯科衛生士を安定的に供給するため、次の取組みを行っていく。

(1) 教育実施体制

学年	定員	教育科目（座学講義）					
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修分野	合計	協力講師数
		英語 生物 心理学 その他 (時間)	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他 (時間)	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他 (時間)	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科 (時間)		
1年生	50人	60	285	525	0	870	28
2年生	50人	45	15	45	45	150	11
3年生	50人	45	75	284	90	494	14
合計	150人	150	375	854	135	1,514	53

学年	定員	臨地実習		施設臨床実習・介護施設実習		教育実施時間合計 (時間)
		実習時間 (時間)	実習施設 (機関)	実習時間 (時間)	実習施設 (機関)	
1年生	50人	—	—	—	—	870
2年生	50人	720	36	—	—	870
3年生	50人	270		36	5	800
合計	150人	990	36	36	5	2,540

(2) 学生確保対策の強化

- ア 学校訪問の実施
- イ 学校見学会の実施（4回）
- ウ 進学相談会への参加
- エ 広報活動の充実
 - ・乗合バスへの学生募集ステッカーの掲載拡充
- オ ホームページの充実
- カ 携帯サイトの作成及び掲載

(3) 教育環境の充実

- ア 教育器材の整備
- イ 学校図書の実充

(4) 教育内容の充実

- ア 専任教員の資質の向上
- イ 講師及び実習指導者との円滑な連携の推進
- ウ 大学病院等実習の実充

(5) 実践活動の実充

- ア 特別講義の実施

(6) 地域医療への就業支援

- ・歯科衛生士の資格を取得させ、地域の医療機関等へ就業させることによる地域医療従事者の安定供給